

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-1199
施設名	このはな保育園
施設所在地	小平市花小金井7-27-1
法人名	社会福祉法人小松福社会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

さつまいも

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)
毎年秋に、年中児と年長児はさつまいも掘りに行っている。さつまいもを掘るという共通の体験を探究活動に活かしたいと考えたから。

2. 活動スケジュール

さつまいも畑の下見に行く
さつまいもの収穫をする
さつまいもの保存(日光に干す)
さつまいもの活用を話し合って決める

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)
さつまいも畑を契約、保護者への連絡(水筒、リュック等持ち物準備の案内)、クッキング用品(鍋、コンロ、包丁、ザル、ボウル等)、スタンプ用品(絵具、筆等)

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

さつまいも掘りを行う。掘ったさつまいもをテラスのベンチに並べて干す。さつまいもを使って何をするか、話し合う。話し合いの結果、クラスごとにスイートポテトパイ、芋きんとんを作ることになった。食べられない細いさつまいもはスタンプに使う話が出た。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

さつまいも畑の下見に行く。目印を確認しながら往復を歩く。葉が茂っている様子を観察する。芋掘りの日は「タワーが見えたからもうすぐだね」と子ども同士で言い合い、歩いていた。株を手で掘り芋を取り出しながら、大きい、長い、細いなど感想を言っていた。葉は農園で取り払われていたので、葉がないことに気づく子もいた。クッキングは楽しみにしており、手順も年長を中心に相談して決めた。さつまいもの形態が変わる様子を保育者に伝えていた。スタンプができる用意はしていたが、子どもたちの興味はそちらには向かなかった。



5. 振り返り

<振り返りによって得た保育者の気づき>

さつまいも掘りという共通体験のきっかけは保育者だったが、後のさつまいもの活用を子どもと相談して決めたことにより、能動性が高まった。クッキングに決まり、作業の分担も子どもの意見を取り入れて決めた。自分の分担ではない作業の時も、注目して応援の声をかけたり、五感で感じたことを言葉に表す姿がみられた。調理は科学の分野を含んでおり、なぜ、水から泡が出る？固かったのに柔らかくなったなど、見たことから気づいたことがたくさんあった。「なぜ？」を調べていくなど、展開もしていける活動だったと思う。